

Biz/Browser SmartDevice
Windows タブレット開発用
スタートアップガイド

目次

1. 事前準備	3
2. Biz/Browser SmartDevice のインストール	4
3. プロジェクトの作成 -Hello World-	5
4. Biz/Designer Mobile でリモートデバッグ設定をする	14
5. Biz/Browser SmartDevice の設定.....	16
6. リモートデバッグ.....	18
7. リモートデバッグがうまく行えない場合	21
8. リモートデバッグで使用するポート番号の変更	23

1. 事前準備

本スタートアップガイドは既に Biz/Designer Mobile をインストール済みの状態を前提に説明しております。

まだ、Biz/Designer Mobile をインストールされていない場合は、弊社 HP よりダウンロードし、インストールを行って下さい。

ご用意頂くもの

- ① Windows タブレット端末 (OS のバージョンは、Biz/Browser SmartDevice に対応しているバージョンをご用意下さい)
- ② Biz/Designer Mobile Ver.4.6.3.0 以降がインストールされた Windows PC
- ③ 無線 LAN 環境 (インターネットに接続が出来ること)

2. Biz/Browser SmartDevice のインストール

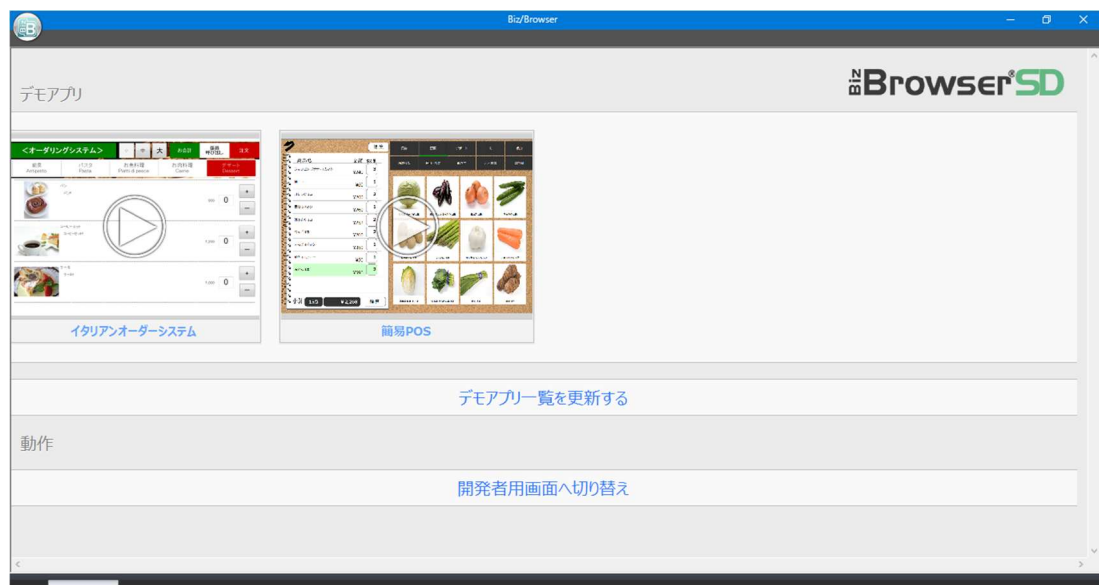
インストール方法は、「BizBrowser SmartDevice (Windows タブレット) インストールガイド」をご覧ください。

インストール後、Biz/Browser アイコンをタップし、Biz/Browser を起動して下さい。



「デモアプリ一覧をダウンロードする」を押すと、デモの一覧がダウンロードされます。

※ダウンロードが完了すると「デモアプリ一覧を更新する」に変更されます



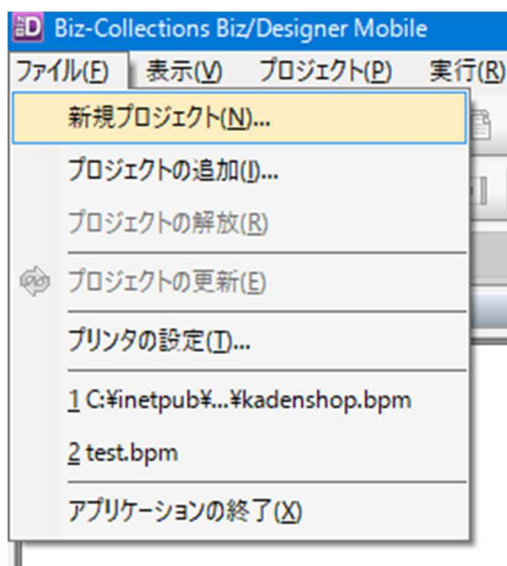
3. プロジェクトの作成 -Hello World-

① Biz/Designer Mobile の起動

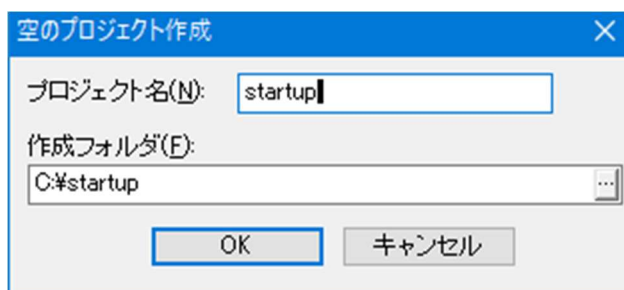
スタートメニュー（Windows 8 の場合は「全てのアプリ」画面）から「Biz/Designer Mobile」を起動します。

② 新規プロジェクトの作成

「新規プロジェクト(N)」を選択し「空のプロジェクト」を作成して下さい。

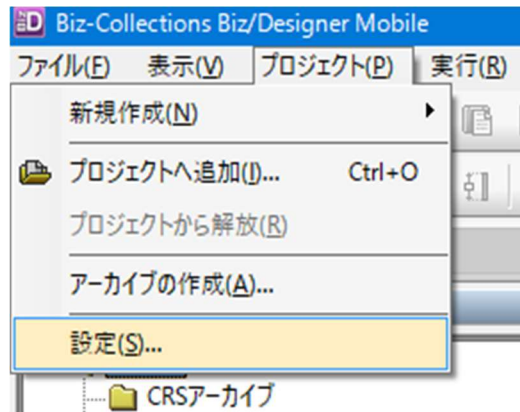


プロジェクト名を「startup」（任意）と入力し、プロジェクトを作成して下さい。



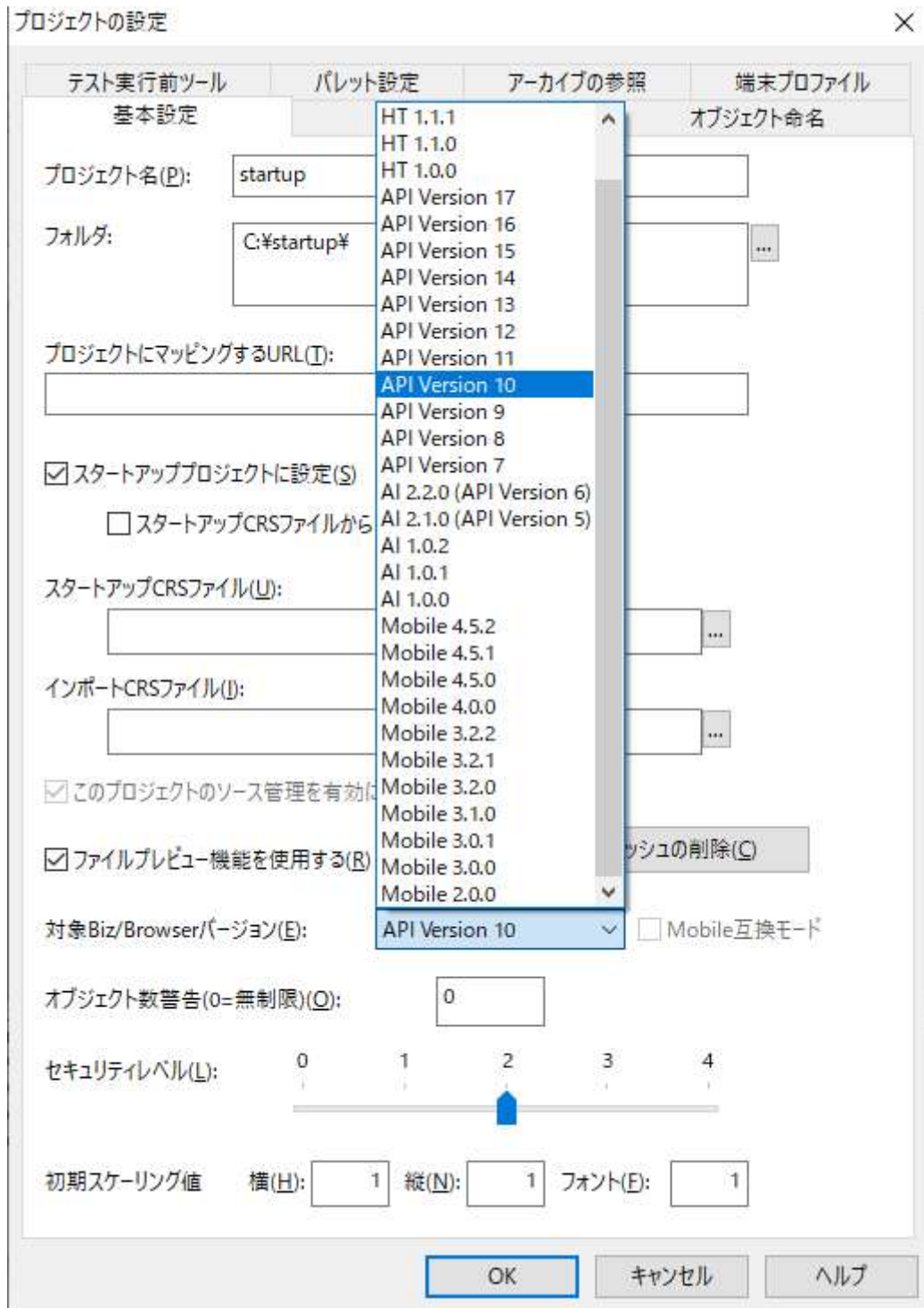
③ プロジェクトの設定

プロジェクトを選択して、メニューバーの「プロジェクト(P)」から「設定(S)」を選択して下さい。



「基本設定」タブの「対象 Biz/Browser バージョン(E)」を「API Version 10」に変更し、「OK」を押して下さい。

Ver4.6.12.0 以前



Ver4.6.13.0 以降

プロジェクトの設定

テスト実行前ツール パレット設定 アーカイブの参照 端末プロファイル

基本設定 プロジェクト情報 オブジェクト命名

プロジェクト名(P): startup

フォルダ: C:\startup¥ ...

プロジェクトにマッピングするURL(I):

☐ スタートアッププロジェクトに設定(S)
☐ スタートアップCRSファイルから実行する(A)

スタートアップCRSファイル(U): ...

インポートCRSファイル(I): ...

☒ このプロジェクトのソース管理を有効にする(V)

☒ ファイルプレビュー機能を使用する(R) プレビューキャッシュの削除(C)

対象製品(P): Biz/Browser SmartDevice ☐ Mobile互換モード

対象Biz/Browserバージョン(E): API Version 10

オブジェクト数警告(0=無制限)(O):

セキュリティレベル(L): 0 4

初期スケーリング値 横(H): 縦(V): 1

API Version 18
API Version 17
API Version 16
API Version 15
API Version 14
API Version 13
API Version 12
API Version 11
API Version 10
API Version 9
API Version 8
API Version 7

セル ヘルプ



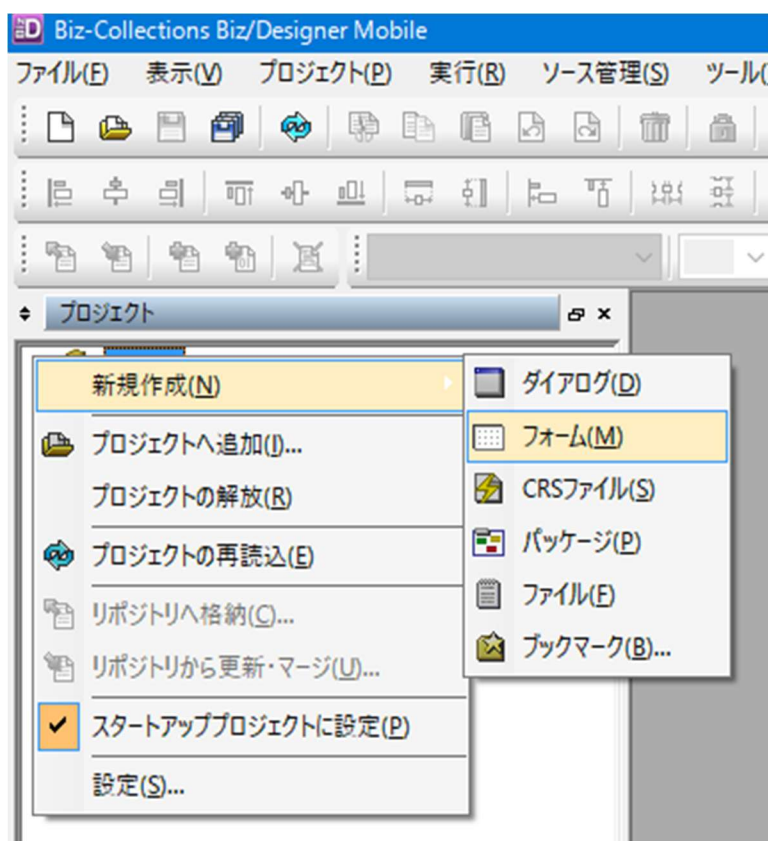
API Version について

Biz/Browser SmartDevice のバージョンによって API Version も異なります。
ご利用になる Biz/Browser SmartDevice の API Version に合わせて設定を行ってください。

API Version は、Biz/Browser SmartDevice のバージョン情報から確認できます。

④ 新規 Form の作成

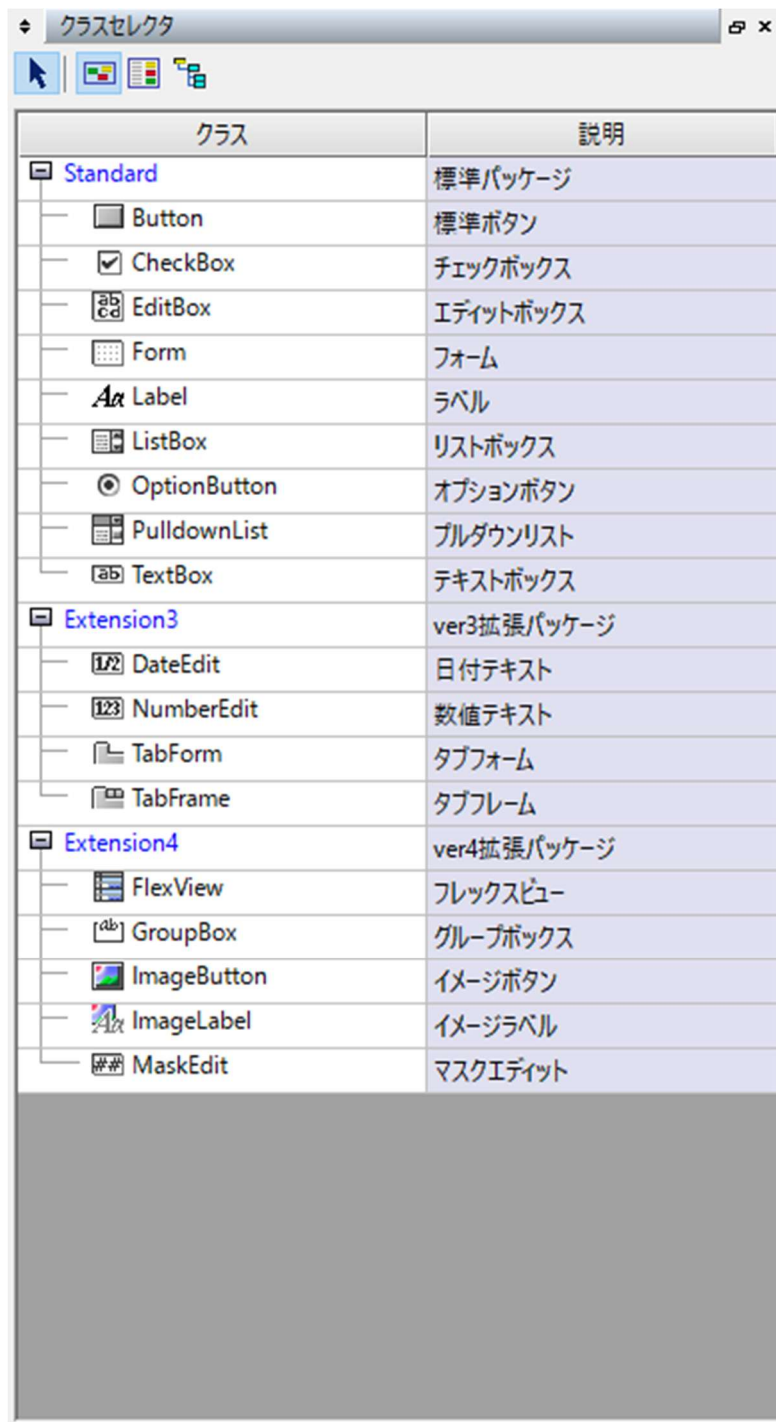
次に Form を作成します。



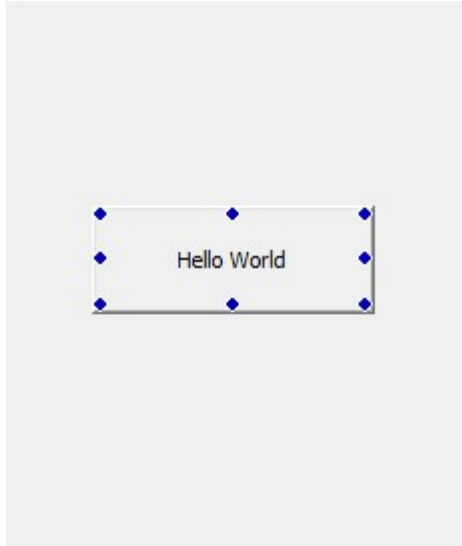
新規 Form の作成後、ファイルを「Form1.crs」のまま保存して下さい。

⑤ ボタンの配置

右部のクラスセレクトから「Button」をクリックし、Form 画面でドラッグ＆ドロップすることにより、ボタンを作成できます。



作成したボタンを右クリックし、「直接編集(E)」を押して、
タイトルに「Hello World」と入力してください。



直接編集の方法について

ショートカットキーが割り振られております。
ボタンを選択後、F2 で同様の操作が行えます。

⑥ Touch イベントの作成

作成したボタンを選択し、右部の「プロパティビュー」の「イベントタブ」を選択して下さい。

イベント名「Touch」をダブルクリックし、スクリプトビューへ移動します。



イベント関数が自動的に生成されていることをご確認下さい。

「OnTouch イベントハンドラ内」に print 関数を作成します。

引数に文字列 Hello World と入れ、Biz/Designer Mobile の下部の実行結果ビューに Hello World と出力するサンプルが作成出来ました。

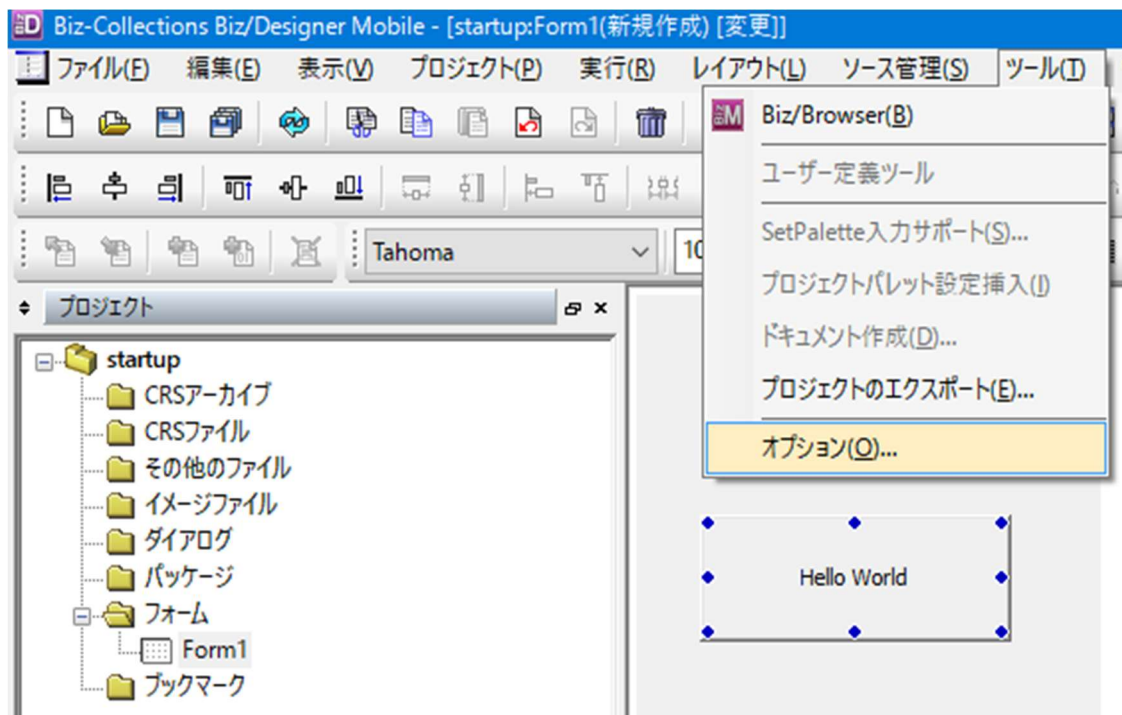
サンプルコード：

```
Function OnTouch( e ) {  
    /* OnTouch イベントハンドラ */  
    /* ここにイベント処理を記述してください */  
    print("Hello World.¥n");  
}
```

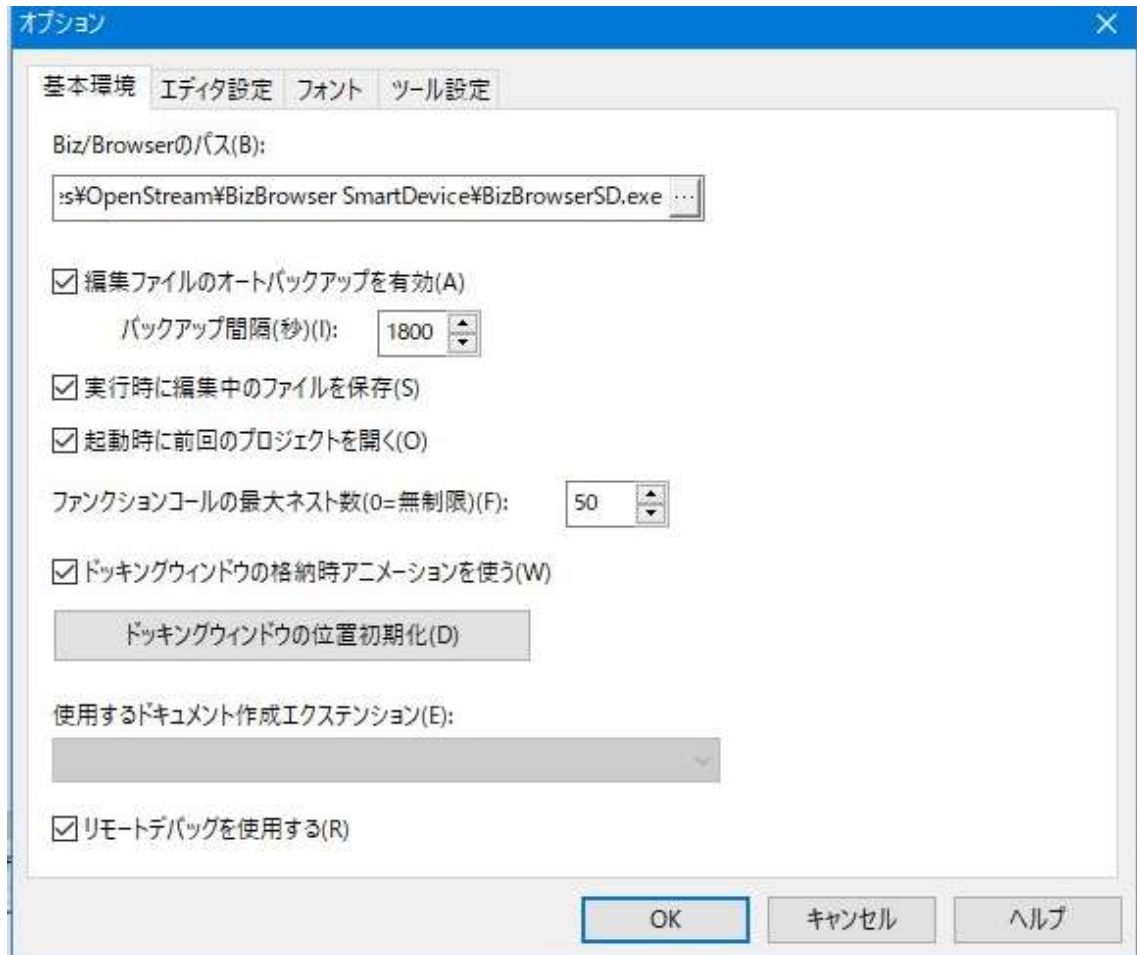
4. Biz/Designer Mobile でリモートデバッグ設定をする

リモートデバッグを行うために準備を行います。

メニューバーの「ツール」より、「オプション(O)」を選択して下さい。



下部の「リモートデバッグを使用する(R)」にチェックを入れ、「OK」を押して下さい。



5. Biz/Browser SmartDevice の設定

リモートデバッグを行うため、「開発者用画面へ切り替え」をタップして、開発者用ホーム画面に変更してください。





ホーム画面の種類は 2 種類ございます。

標準：

Biz/Browser SmartDevice のデモをダウンロードしてご体験できます。

デベロッパ：

開発者用のリモートデバッグに 特化したメニューが実行されます。

6. リモートデバッグ

実際にリモートデバッグを行うために、PC の IP アドレスを取得する必要があります。

コマンドプロンプトを利用して IP アドレスを取得して下さい。



IP アドレスの取得の仕方

Windows キーと R キーを同時に押して、ファイル名を指定して実行を出し、

「cmd」と入力して下さい。

または、スタートメニューより、「プログラムとファイルの検索」から、「cmd」と入力して下さい。

黒い画面が表示後、「ipconfig」と入力すると、ネットワークの状態が取得できます。

「IPv4 Address」の値が IP アドレスとなります。

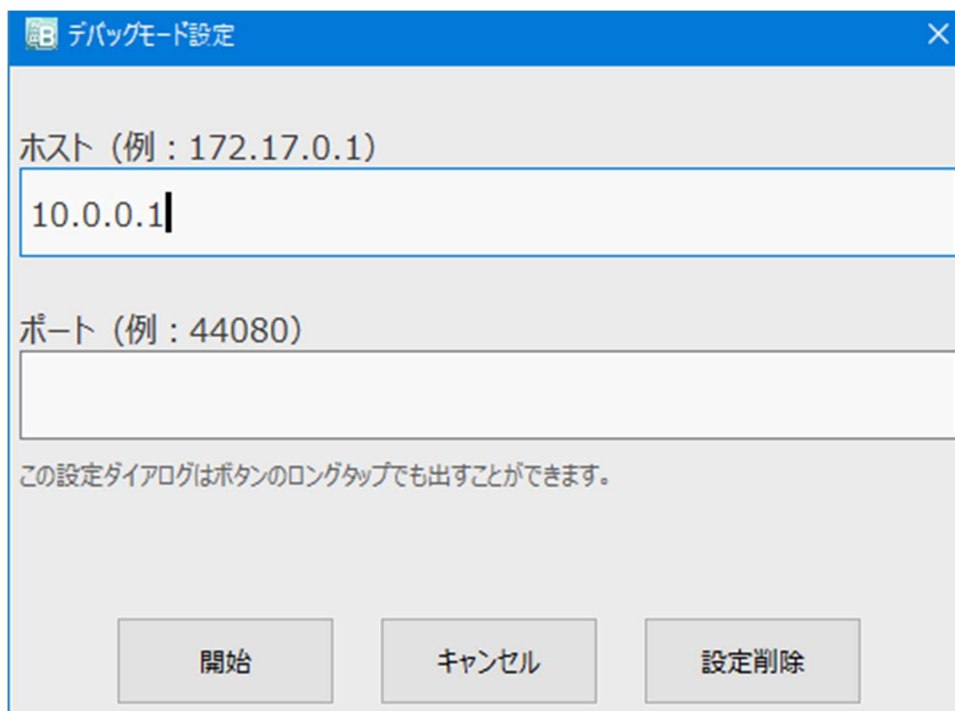
取得した IP アドレスを仮に「10.0.0.1」として説明いたします。

IP アドレス取得後、Windows タブレット端末から Biz/Browser を起動して下さい。

起動時のホーム画面が標準モードだった場合は、アプリケーションを再起動して下さい。

Biz/Browser を起動し、「デバッグモードを開始」ボタンを長押し（右クリック）すると、デバッグモード設定ダイアログが表示されます。

先ほど取得した IP アドレスを「ホスト」へ入力し、「開始」ボタンを押して下さい。



ポートについて

Windows タブレット端末と PC との接続時のポート番号は、標準が 44080 となっております。

既にこのポート番号をお使いの場合は、Biz/Designer Mobile の設定より変更出来ます。ポート番号の変更は、8 章をご参考下さい。

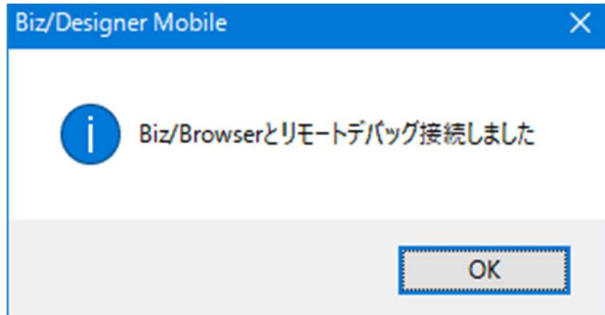


接続先ホストの変更について

接続先ホストは最後に接続された IP アドレスが記憶され、タップすると即座にデバッグ接続を行います。

接続先ホストを変更した場合は、「デバッグモードを開始する」ボタンを長押し、「デバッグモード設定」ダイアログを表示して、ホストの変更を行って下さい。

「開始」ボタンを押すと、Biz/Designer Mobile 側で接続が確立したメッセージが出力されます。



「OK」を押すと、テスト実行が行えるようになります。
先ほど作成した「Form1.crs」を開き、赤い三角の「編集中のファイルからテスト実行」を行って下さい。
iPad 上で、Button が配置された Form が表示されます。



ボタンを押す度に、Biz/Designer Mobile の実行結果ビューに「Hello World」を文字が表示されます。



編集中のファイルからテスト実行について

ショートカットキーが割り振られております。
Ctrl+F5 で同様の操作が行えます。



ステップ実行によるデバッグについて

Biz/Designer では、crs プログラム上にブレークポイントを設置し、ステップ実行することが出来ます。イベントが発生した時や、一時停止を行った時に変数の値や、オブジェクトのプロパティを参照することが出来ます。

7. リモートデバッグがうまく行えない場合

リモートデバッグ機能では、通信環境によってうまく接続が出来ない場合があります。出来ない場合の解決方法を以下に示します。

① ファイアーウォールによる障害

ファイアーウォールが設定されている場合、ポートの開放がうまく行えない場合がございます。

まず、Windows のコントロールパネルより、ファイアーウォールを一旦無効にし、接続できるかをご確認下さい。

接続が行えた場合、ファイアーウォールの設定を戻して下さい。

その後、ファイアーウォールの詳細設定を開き、受信の規則に「新しい規則」を設定して下さい。

例)

[ポート]→[TCP/特定のローカルポート(44080)]→[接続を許可する]→
[必要に応じてチェックを入れる]→[名前(Biz/Designer)]

接続が行えない場合、そのまま②へ進んで下さい。

② セキュリティソフトによる障害

セキュリティソフトの設定により指定のポートが利用できない場合がございます。

①と同様に、一度セキュリティソフトを停止の上、接続確認を行って下さい。
接続が行えた場合、各種セキュリティソフトの設定より、指定ポートの受信を許可して下さい。

③ 「①②」を試したが、接続が行えない場合

同じネットワーク内に端末が存在するかをご確認下さい。

Windows タブレット側の IP アドレスを確認します。

「設定」→「Wi-Fi」→接続中のアクセスポイントを選択して下さい。

IP アドレスの欄(仮に 10.0.0.2 とします)を覚えていただき、PC から接続確認を行います。

コマンドプロンプトを開き、以下のように入力して下さい。

ping 10.0.0.2

結果が「Request timed out.」と表示された場合、同一ネットワーク内に存在していないか、ネットワーク設定が不正です。

ネットワークの設定を再度ご確認ください。

結果が「Reply from 10.0.0.2: bytes=32 time<1ms TTL=128」と表示された場合、同一ネットワークには存在しておりますので、その他の原因が考えられます。

Proxy や、アクセスポイントの設定をご確認の上、ネットワーク担当者へご相談下さい。



Ping コマンドの使い方

Windows キーと R キーを同時に押して、ファイル名を指定して実行を出し、「cmd」と入力して下さい。

または、スタートメニューより、「プログラムとファイルの検索」から、「cmd」と入力して下さい。

黒い画面が表示後、「ping [IP アドレス]」と入力すると、接続先の端末へパケットの送受信状況を確認することが出来ます。

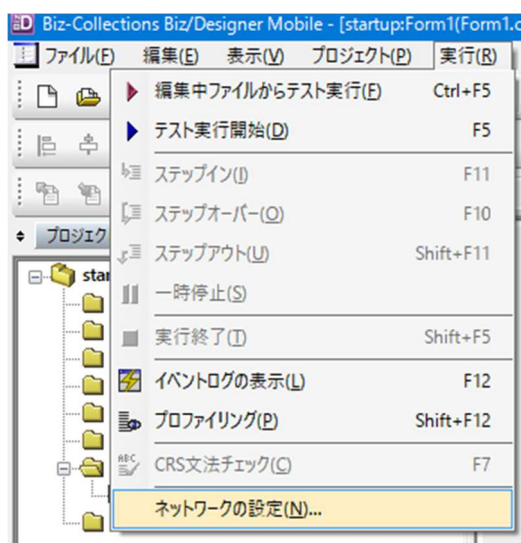
ネットワーク環境が不安定な場合、リモートデバッグ中に動作が止まってしまうことがあります。その際に、片方の接続ステータスが接続中になり、Biz/Browser、Biz/Designer の操作が行えなくなることがあります。

その場合は、PC と Windows タブレット端末共に一度アプリケーションを終了し、再度リモートデバッグを行って下さい。

8. リモートデバッグで使用するポート番号の変更

リモートデバッグでは、Windows タブレット端末から PC に接続する際に特定のポートを開放する必要があります。

標準では 44080 番ポートを使用しますが、メニューバーの「実行」の「ネットワークの設定」から「デバッグポート番号(D)」を変更することが出来ます。



ネットワークの設定

Biz/Designer内蔵サーバの設定

ポート番号(P): タイムアウト時間(秒)(T):

帯域制限(bps)(B): ☐ コンピュータ名をlocalhostに置き換える(C)

デバッグポート番号(D):

OK

キャンセル

フォワード時のデフォルトのプロキシサーバ

☒ Internet Explorerのプロキシ設定を使用する(Y)

ホスト名(H):

ポート番号(P):

☐ ローカルアドレスにはプロキシを使用しない(N)

次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(N):

セミコロン(;)を使用してエントリを分けてください。

リダイレクトマップの設定(D)

転送元URL	転送先URL	プロキシサーバ

追加(A)...

編集(E)...

削除(R)

↑

↓

リダイレクト時のデフォルト認証ID、パスワード

ユーザーID(U):

パスワード(P):

Biz/Browser SmartDevice
Windows タブレット開発用
スタートアップガイド

2015年08月01日 初版発行
2017年12月25日 第二版発行
2021年01月27日 第三版発行
2025年07月01日 第四版発行